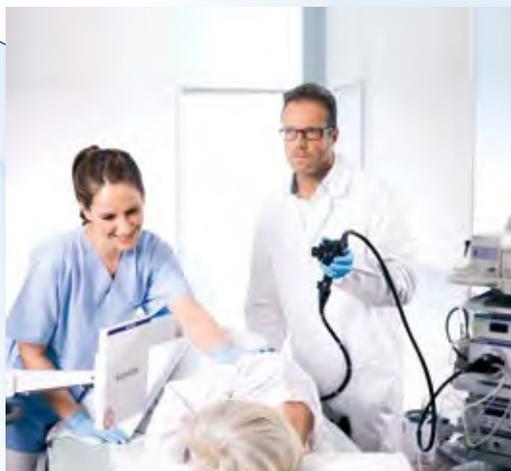


Our Strengths / Presence — オリンパスの競争優位性 —

世界中の人々の心と体を思いやる医療環境の実現に貢献し続けること。それがオリンパスの医療事業が社会において果たすべき役割だと考えています。病気の早期発見や身体への負担の少ない低侵襲治療に役立つ機器の開発・提供を通じて、患者さんの生活の質 (Quality of Life) の向上、医療効率・経済性の向上への貢献を目指しています。



早期診断に貢献

66年

技術力をベースに医療従事者と二人三脚で医療現場のニーズに応えるとともに、世界中の人々の心と体にやさしい医療に挑戦し続けます。

消化器内視鏡シェア (世界)

70%超 No.1

1950年に世界で初めて実用的な胃カメラを開発したオリンパスは、それ以来、世界最先端の消化器内視鏡製品を生み出し続けることで、圧倒的な世界トップシェアを維持してきました。この製品開発力を支えているのが、顕微鏡やカメラを通じて培われた光学技術や電子映像技術です。

さらに、消化器内視鏡で培った技術を外科分野でも活用することで、製品領域を拡大し、さらなる成長を目指します。



修理・サービス拠点網

世界約200

世界中どこでも「現場での医療を止めない」安心、安定したサービスの提供を目指します。

分解を含む本格的な修理 (重修理) を集中的に行う、世界最大の内視鏡修理センターを米国サンノゼに設置

医療事業

医療従事者との信頼関係

オリンパスが提供する2つの価値

早期診断

低侵襲治療

サービス & 品質

価値創造を支える
オリンパスの競争優位性

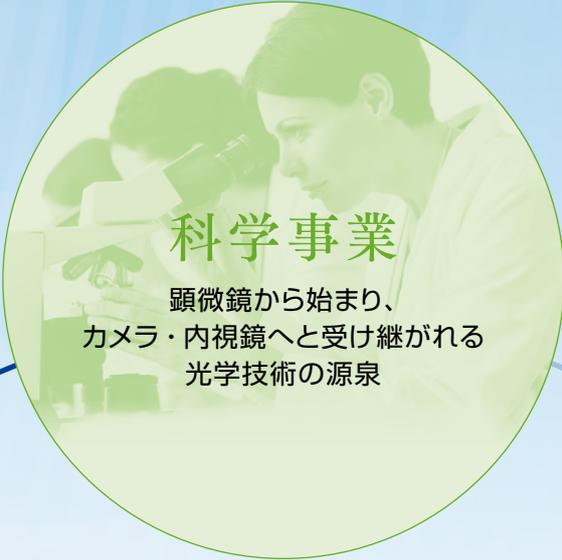
生物顕微鏡、工業用内視鏡シェア（世界）

約**40%** No. 1

科学事業の特許保有件数

4,500超

世界トップレベルのシェアを持つ生物顕微鏡はオリンパスの創業事業であり、コアコンピタンスである光学技術の源泉です。顕微鏡の重要部品であるレンズの加工技術は、美しい画質を実現するカメラレンズや、細い内視鏡の先端に取り付ける極小サイズのレンズ等、各事業の主力製品に欠かせないものです。



科学事業

顕微鏡から始まり、
カメラ・内視鏡へと受け継がれる
光学技術の源泉

キーテクノロジー

光学技術

光学計測技術／先端光学技術／
次世代光学設計技術

電子映像技術

イメージャー技術／デジタル画像基盤技術／
高速通信技術／システムLSI

精密技術

精密制御技術／精密実装技術／
MEMS技術／超小型デバイス

生体基盤技術

生細胞解析技術／細胞分離・培養・
評価技術／遺伝子導入技術



映像事業

最先端の
電子映像技術を生み出す
技術革新のドライバー

ミラーレス一眼カメラシェア（国内）

約**25%** No. 2

映像事業の特許保有件数

4,200超

製品開発のサイクルが短く、多くの競合メーカーとの激しい競争にさらされるカメラ事業で生まれた最先端の電子映像技術は、ほかの事業にも恩恵をもたらしています。例えば、デジタルカメラの開発によって獲得したデジタル映像技術は、内視鏡をファイバースコープからビデオスコープへと進化させました。

技術力

医療事業の特許保有件数

6,700超



NBIを搭載した内視鏡
ビデオスコープシステム

画像提供：京都大学医学部附属病院
武藤 学先生



通常画像（食道）



NBI画像（食道）

消化器内視鏡治療支援システム
（試作機）

